

| 第1回川口市行政評価外部評価委員会 | | | |
|-------------------|--|------|------------|
| 日時 | 平成29年7月13日(木)15:00~16:25 | 場所 | 第二庁舎 地階会議室 |
| 評価委員 | 石川委員長、佐藤副委員長、稲垣委員、入野委員、隅内委員、世古委員、田中委員、團野委員、増田委員、矢野委員 | 傍聴者数 | 0名 |
| 事務局 | 岩城企画財政部長、【企画経営課】石井課長、藤田課長補佐、長部主任、秋山主任、菊池主事補 | | |

| 議事(1) 会議の公開について |
|--|
| <p>○事務局より会議の公開について説明。</p> <p>○意見等については特になし。</p> <p>○会議の公開について、当会議は全て公開することで決定。</p> |

| 議事(2) 外部評価の進め方及びスケジュールについて |
|--|
| <p>○事務局より別添会議資料『平成29年度川口市行政評価外部評価委員会資料(本編)』を基に「①平成29年度外部評価について」を説明。</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> ➤ (本編)P7の評価シートは昨年度と変更あるか。 ・ 事務局 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 若干変更がある。評価の観点を整理し、8項目から6項目へ変更している。また、昨年度は無かった定量的評価を追加している。 ・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> ➤ (本編)P18の実施計画事業評価調書の視点評価の点数はどのようにつけているのか。 ・ 事務局 <ul style="list-style-type: none"> ◇ (本編)P9の視点評価の判定から、それぞれの配点をもとに算定している。しかし、判定が「改善の余地なし」等は配点から除外し、それ以外の項目で15点を割り振っている。 <p>○事務局より別添会議資料『平成29年度川口市行政評価外部評価委員会資料(別紙)』を基に「②外部評価の具体的手法について」を説明。</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> ➤ (別紙)P4の定量評価の「2.改善の必要あり」と「3.改善の余地あり」のニュアンスの違いは何か。 ・ 事務局 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 「2.改善の必要あり」:具体的にどこを改善すべきかが見えている状態 「3.改善の余地あり」:漠然とだがどこか工夫ができるのではという状態 このように捉えていただきたい。 <p>○事務局より別添会議資料『平成29年度川口市行政評価外部評価委員会資料(本編)』を基に「③評価対象事業について」を説明。</p> |

議事（3） その他

- 外部評価とは別途で、「地方創生加速化交付金」及び「地方創生推進交付金」それぞれの平成 28 年度実施事業についての効果検証として、第 4 回外部評価委員会時に意見をいただきたい旨を説明。資料の配布等、詳細の連絡は第 3 回外部評価委員会時に連絡予定。
- 効果検証についての質問はなし。
- それ以外の質問については以下のとおり。

【質疑応答】

- ・ 委員
 - 評価する個々の事業と川口市総合計画との結びつきがわかりにくい。
- ・ 事務局
 - ◇ 総合計画には 6 つのめざす姿があり、それを実現するために施策がある。その施策の下に単位施策があり、単位施策の下にある事務事業が評価していただく部分である。
 - ◇ （本編）P18 以降の実施計画事業評価調書の事業期間・根拠等の欄に記載がある。
- ・ 委員
 - 評価する 10 事業は各事業からまんべんなく選ばれているのか。事前に委員に行われたアンケートで選んだものは反映されているのか。
- ・ 事務局
 - ◇ すべてではないが、委員の方々へ行ったアンケートにて希望度が高かった事業も反映している。また、市にて検討したのもも評価する事業へ加えている。